



県立大前道路にたずむワウマの跡に追る「モント事件簿」-8面

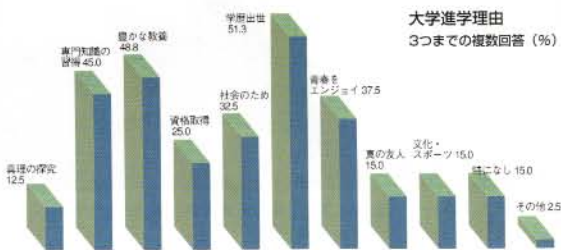
MONTO

岩手県立大学
総合政策学部ニュース
Iwate Prefectural University
第2号1999.12.1

総合政策学部生の実像は? 学生生活実態調査まとまる

● 大学進学理由 「社会のためになる素養」 他学部より高い比率

昨年四月に開学した岩手県立大学も、二年目を迎えた。例年になく暑かった岩手の夏も終わり、後期の授業が終わる頃一学期である現在の二年生にとっては、大学生活の半分が過ぎることになる。開学したばかりのキャンパスで、一期生たちは何を感じていたのだろうか。このほど発表された「学生生活実態調査」から、総合政策学部生の実像に触れてみた。



この数字は、安定志向だった地域社会のために仕事をし

ける比率が高くなっている(二・五%)のが特徴だ。岩手県立大学への進学理由は、「公立大学」(五七・五%)、「地元」(五〇・〇%)、

「地元」(五〇・〇%)、

「地元」(五〇・〇%)、

平成十二年度一般選抜試験の学生募集要項が、このほど公表された。総合政策学部の一大学入試センター試験「利用科目」は五教科、五科目から二教科、三科目の自由選択制に移行した。ほかに、前期では総合問題が、後期では小論文と面接が課される。

「大学入試センター試験」の配点は、前期、後期とも、国語、地歴・公民、数学、理科、外国語が各百点。前期の総合問題は二百点、後期の小論文は二百点、面接は五十点となっている。合否判定は、各教科、科目の点数を総合問題、前期、後期の点数合計十小論文と面接

文十面接(後期)によっておこなわれる。総合問題は、「現代社会が抱える諸問題について論じた英文・和文及びそれらに関わる資料・図版を提示し、それらの読解をおこなって、総合政策学部に関する問題、小論文について、新聞やテレビで最近よく取り上げられている「現代社会の諸問題」を勉強しておくことが大切だ。また、総合問題の資料・図版の対策としては、「高輪社会白書」、「経済生活白書」、「国民生活白書」、「環境白書」などに目をおし

ておくという

立つであらう。そのほか、過去の問題を解いてみるという作業があるが、過去の問題は総合政策学部のホームページで公開している。ホームページは

http://www.pody.iwate-u.ac.jp/

というだけの違いである。総合問題、小論文については受験生の対策としては、新聞やテレビで最近よく取り上げられている「現代社会の諸問題」を勉強しておくことが大切だ。また、総合問題の資料・図版の対策としては、「高輪社会白書」、「経済生活白書」、「国民生活白書」、「環境白書」などに目をおし



大学正門のアーチは、半円の中にキャンパスと岩手山を収め、学生たちの姿を映して送り迎えする。

という、一学期の熱い思いが表れているのだと受け取られた。一方で、調査がおこなわれた一月の時点では、将来の進路や職業選択について不安を抱く者も少なくなくなった。他学部と比較すると「将来の進路や職業選択」に満足している割合が低い(満足)と「まあ満足」を合わせて二八・八%。現在どのようでも、七二・五%が「進路や就職」を挙げた。新設学部の一期生は、進路を遊ぶにも就職活動をするにも、先に頼るわけにはいかない。「満足」する学生が少ないのは、ある意味では当然だろう。

しかし、無感こそはない。総合政策学部ならではの充実したカリキュラムに加え、この秋からは、公務員を志す学生君のための就職入門講座が用意されている。一〇月からの秋期

コースと二月の春期コースを利用すれば、希望に向かって着実に前進できるはずだ。また、これからは国際社会を舞台に活躍する人ももちろん、地域社会のために働く人でも、仕事のうえで英語を使う機会が増えるだろう。英語能力を高めるため、総合政策学部の二年生は全員がTOEFLを受験する。そのためには、自習用に自由に使うことのできるAV設備も新たに準備した。こうした恵まれた環境を活用して、夢を大きく育てて欲しい。

学内の友人関係を尋ねた質問では、「心を打ち明ける友がいる」という回答が同性で七八・八%、異性では三〇・〇%あった。三年からは行政・経営と環境・地域の二つのコースに分かれてより専門的な勉強が始まる。コースに入れば、そこで、新しい仲間もできるだろう。さて、学生たちの暮らしはどうだろうか。県大全体でみると、毎月の平均収入は七万七千円、収入源別の平均は家から五万八千円、奨学金が四万五千円、アルバイトが三万九千円となっている。

男子学生の二〇・〇%、女子学生の二二・〇%が奨学金を受けて、男子の三九・三%、女子の五四・二%がアルバイトをしている。総合政策学部でみると八三・八%の学生が家から住み込みを受けたり、小遣いをももらったりしているが、その不足分を奨学金やアルバイトで補っているということがある。

やや気がかりなのは、総合政策学部の学生のうち、授業の七割以上を理解できるといふ者が三割に満たないという点。もう一つは授業以外に週に五時間未満しか勉強しない者が五割を超えている点だ。教員の側にももちろん責任はあるが、学生の側にもいっそうの努力が求められるのだ。

総合政策学部には、パラエティに富んだ、深い専門性を持つ教員が揃っている。そのメリットを存分に生かし、将来に悔いを残さないで欲しい。

風媒

大学や教育、学生や若者についての新聞記事の切り抜きを始めて一年半になる。たいした分量にはなっていないと続けている分厚い大学ノートが、もう三冊も膨らんでいる。これらのテーマがそれだけ、日本社会の重大関心事だということだろう。試みに、気がかりな見出しを拾ってみよう。

「日本の若者、未来に無関心」
「授業不能、学級崩壊」
「愛憎を燃らす」
「教育のことはとうとう」
「少ないだろう」とりわけ、年配者の多くは、日常生活のさまざまな場面で、若者の言動にいらだち、腹立たせ、叱つたりはあきらめる。という経験をもっている。いつの時代でも、若者たちは「いま」の時代だ。年配者の顔をしかめさせてきたが、昨今の世代の断絶は尋常ではな

「それにしても、日本の教育はここで、どうボタンをかけ違つたのだろうか」無神経、無関心、無感動、現代の若者たちはときに、こんな言われかたをする。しかし、本誌四、五面の学生座談会を覗いて、かれらが確々しと襟巻を使っているのが、それがわかる。学生たちの多くは、自らもたない、リーダーになるものや、アルバイトでも、アルバイトが三万九千円となっている。

「だから、よほど親しいというまでは、相手のいやな面にもできるだけ触れたいようにする。自己防衛といつてしまえばそれまでだが、ある種の気遣いであり、優しさといつてもいいだろう。座談会のおかげで、学生が「トラウマ」精神的外傷」という言葉を使っている。だが、かえってその底の底に洗ってしまえば、もたない。そんなことを考えながら、大学祭をのいてみてびっくりした。目を覚ましたくないはずの学生たちが、舞台に飛び込んで、教室では怒り、大声を張り上げて誰かの果物や野菜を売っている。その生気を取り戻すのか。「若者自身の条件」の研究も、焦眉の念に思えてきた。

学生座談会

君は「IPUメーカー」たりうるか

MONITOR 創刊号では、教員の側が学生たちを一方的に新入りのきらいがあった。これは公平を欠く、こんどは学生の立場から反論してもらおう、と座談会パート2を企画した。そして、「いまどきの教員」として、「いまどきの学生」は大いなる疑問符である。なんでも強断と偏見、なんたる「生」のうで、若き異星人たちに突撃取材を試みた。

●出席者

- 石川有希子
- 斎藤 広樹
- 佐々木重昌
- 高橋かおり
- 宮腰 昭典
- 司会 (いずれも総合政策学部2年生)
- 増子 義孝教授

怒濤のように過ぎる

司会 みなさんの大学生活も一年半になったわけですが、まずその感想とか印象が。

A 日にちが経つにつれて大学生活ってほとんどん業になってきますよ。初めての一人暮らしで、洗濯とか炊事とか家事とか、全然やらかしたことなりました。すぐく手際悪くて、ご飯つくるのが一時間半とか二時間とかかかったんですよ。

B 授業にしても、先生って黒板にまともに書いてくれないじゃないですか。で、ノートのとり方も全然わかんなくて、結構苦労したんですけど、さすがに今はかなり楽になったという印象があります。

D 一人で家事やったりとか、授業のこともそうですけど、忙しくて時間がない。次々やることがあって……。やりたいこともやっつて、学校のルーチンワークもこなしていいこうとする。もうとにかく時間が足りない。

E 私の場合も、時間に追われているのがまず第一です。サークルとか実行委員とか、掛け持ちでいろいろあることをやっつて、それにレポートとかに追われて忙しかったですね。怒濤(どとう)のように。逆に言えば、充実しているということ



現代学生気質について率直に語り合う。右手前から斎藤広樹、高橋かおり、宮腰昭典、佐々木重昌、増子義孝教授、石川有希子のみなさん。



司会・増子義孝教授

先輩がいらないつらさ

C 高校の時は、一応大受験っていう目的があったって勉強したから、疑問は感じなかったんです。それが大学に入って、今度は、将来何になりたいとかそういうことを考えると、毎日疑問だらけで感じます。うち

にもなると思います。

の大学は年上の人がいらないじゃないですか。みんな一回生だから、何したらいいかわからないっていう面もある。

E 良くも悪くも刺激が少ないうちが気がします。勉強や就職のことにしても、先輩が目見てお手本にしたり、焦燥感から来たりする。そういう面での刺激がないとは感じますね。

B 確かに先輩がいなくて、なんか物足りなさっていうのがあるんですけど、でも、私個人としては、毎日の生活はかまらなく実生活はいいんですけど、大学とは別に自分のいる場所があるからなんだと思います。私は学生以外の人たちがボランティア活動をしているんですけど、ちがう世界のひとと触れ合うことで、新しい発見がある。

質問しづらい雰囲気

D 大学に入ったらもって先生と学生の距離が縮まるっていうか、もって対等に意見交換できるのかなと思っていましたけど、実際には一方的に先生が話す授業が多くて。なかには学生と双方向のやりとりを大切にしたい先生もいらっしやいますけど、少数派ですね。まあ、私たちが質問すればいいと思うんですけど。

C 逆に言うんですけど質問しづらい雰囲気っていうのがあって。もって相気味いいみたいな雰囲気は欲しいな、といつも思っています。それが大学の先生って、構えているところがあるって……。

A 質問したくても、「そんな事もわからないのか」って言われそうなのが。高校の授業の方が楽しかったよ。

司会 創刊号の座談会では、質問する学生が少ない、おとなし過ぎるという点に議論が集中しました。教員の側は、こちらがエール投げたら学生が投げかえしてくるような授業をしたい、とそれにしても、このずれ具合はどうしたらいいでしょうか。

E 私もあまり質問しないですけど、自分でも何でもこんなに静かなんだろうと思ったりはあります。でも、やっぱり質問しづらい雰囲気がある。質問してくるな、という感じの先生もいる。

B それについての知識がないから、何がわかんないのか、自分でもわかんないっていうか……。そういう感じもある。

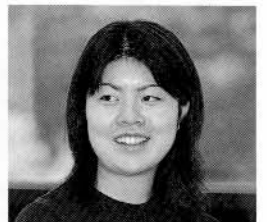
司会 研究室に質問に来る学生はいるんですか？

A 私語もなければ、質問もない。私語もなければ、質問もない。なにか物足りないんだよね。

D 学生の方も気にしているんじゃないですか。私語をしたら、出ていって、先生は言いますよ。

A 全体の雰囲気として、真面目だっけっていうのがあるんじゃないですか。

E とりあえず、みんなの前では沈黙は金だと思ってる。先生の前では、黙って自分だけいじめるし、いじめられたらっていう経験がある人は



佐々木重昌さん

目立ちたくない心理

A うん、トラウマっていうか、それがみんなの前で手を挙げることにプレッシャーを感じている。それが全部とは思わないんですけど、その要因としては、**司会** ある学生がトップになるのも、どりになるのもいやだ、と言っていた。君らには突出を避けるという心理が働いているのかもしれない。

C トップにならなれたら、リスクっていうか負担があるんじゃないですか。みんなを引っ張っていかなくちゃいけないじゃないですか。そういう心理が働いている人が多いから、結局はそれをやってくれる人を探してそれに乗るっていうだけじゃないですか。

D 小学校からずっと、みんな平等に、って言われてきました。平等に平等にっていうのも、一種の抑圧になる。言われ続けていると抑圧になる。

A 足の速い子も遅い子も、遅い子もいると思うんです。それが例えば、小学校なんか走ると、今は徒走走はドーンと走るんですけど、ゴールはみんなの手をつないで待つところもある。優秀な子も落ちるから、そこまですごい競争するから

「オープンスクール」総合政策の多様性

60人の高校生が実感
山谷清志教授

「総合政策」とは何か、こうした疑問が後者絶たない。そこで総合政策学部では、この学部を志望する高校生諸君に、どのような講義を行っているのか具体的に理解していただくために、今年度から「オープンスクール」公開授業を実施することにした。

今年は八月二十九日に開かれ、約六十人の高校生諸君が青森秋田、宮城、福島、そして皆手の各県から参加した。総合政策部長の全体ガイダンスの後、行政社会論の模範講義として小針教授の憲法論、次に環境教授の生態学、農島助教の水質汚染問題、平塚助教の植物生態学の話の三つを聞いた。

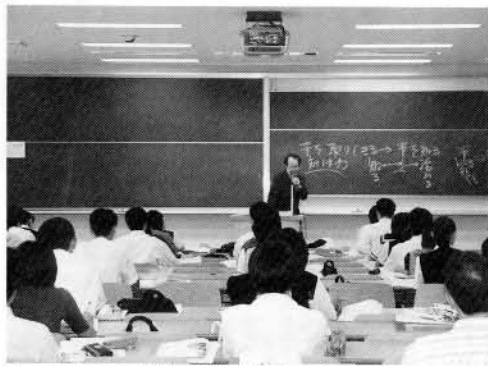
昼食をはきんで、経営・経済講座所属の地主教授による財政学講義、地域政策講座の佐藤利明助教の地域社会学講義、そして政策科学講座の徳久教授の「電気紙芝居(NHK時代の国際報道と通信衛星の話)、最後に異文化交流講座のヒト助教による比較文化(ヒトと日独比較)講義で

締めくくられた。

総合政策学部は何をするのか分らないという高校生諸君の疑問も、こうした具体的な講義を聞くことによって理解し、かなり明確なイメージを持つて帰られたと思う。教務委員長として総合政策学部のカリキュラム編成を熟知しているはずの私自身、このオープンスクールを聴講して「すごい面白い」という講義があるなあ」と今さらながら驚いたのであるが、それとともに、現代社会における政策論議の複雑さ、難しさをあらためて認識させられた。

おそらく、多様な問題に関心を持つ高校生諸君にとっては、とても興味深い模範講義だったのではないだろうか。

逆に、問題関心を持たない高校生は、「何がなんだから分らない」「理系とも文系ともいえない総合政策」とも、さらには混乱を深めたであろう。この「社会に対する問題関心」というところが、わが総合政策学部の評価を分けるのかも知れない。



「オープンスクール」で高校生に講義する小針教授



石川有希子



百藤広樹君

リーダーはごめんだ

司会 僕の観察によると、君はリーダーになりたがらないし、リーダーシップをとれない。例えばゼミでコンパをやろうというところで幹事を決めるとするところでは何をしたらいいかわからない。仕切れない。

E 世代的に、お膳立てされるのには慣れない。っていうこともあるんじゃないですか。去年の三階ゼミなんかそうでした。そういう行かないからとて、資料も渡されて。

A リーダーは普通はいないんですよ。がき大將ついでというのがないですか。グループで集まっても仕切らないんですよ。C 他人にリーダーシップをとられたときに持つ不満が、自分がリーダーになったら、正直いってこわい。リーダーシップを

とったときに負うリスクに、自分自身が耐えられないということでしょうか。

A 性格もあると思うんですけど、やっぱり面倒くさいのはいやだ。

B そうはいうけど、リーダーになれる人はけっこういますよ。昔に比べれば少ないかもしれませんが、若人は言われたことはやるが、自分の考えでやるわけではない、ともいわれているけど。

E 小学校から全部そうだと思うんですよ。勉強なんかにしてもほとんど暗記で、暗記でも考えることなんかありませんよ。

C よくないかなと考えるのが、物事うまく進む方向に、おもしろいかなにかにしても自分で決めることではないです。遊びなんかは決まっちゃってるわけですよ。だから考える習慣がないのかもしれない。与えられたものをこなす方の能力は高いかもわからないですけども。

D おもしろいかなにかにしても自分で決めることではないです。遊びなんかは決まっちゃってるわけですよ。だから考える習慣がないのかもしれない。与えられたものをこなす方の能力は高いかもわからないですけども。

気が許して話せない

司会 君たちを見てると、警戒心が強いというか、学生同士でも心を開いて話をするということが少ないような気がする。ある先生が言っていたんですが、今の学生は二人とか三人とか、気の合った同志とかのすごく長くしゃべると、そんな中に入らなければならぬ、そんな中に入らなければならぬ、と、信用してないから。

E やっぱ警戒心だと思ってるのかな。相手の目を通して自分を見るんですよ。

いがみ合うのはイヤ

司会 社会関係っていうのが、昔はそのつくり方がもうらまうつうまかつたような気がするんだ。

C そんなこと必要ない、と思ってる学生も結構いるかも。私自身も。

E 心理学者なんかも言ってますけど、デタッチメント(関わりなさ)って君ら似たりか。司会 と、つかみ合いのけんかしたとか、つかみ合いのけんかしたことあるか。

C 今は学校で、つかみ合いのけんかとか絶対させないです。まだはじめの方がいいって言うくらいです。

E 殴り合いのけんかなんてしたことはないです。けんかの仕方わからないんですよ。昔のけんか、一対一のけんかだと思ってるんですけど、それが今は一対多数になつていてと思うんですよ。だから、陰謀に思われるかもしれないんですよ。

ジコチュートケータイ

司会 もう一つ悪態をつかせよう、今の学生は、自己中心的で、他人に対する配慮がすごく希薄なような気がする。さつき優しいと言ったことと矛盾するようだが、両極端として現れる。

A 他人への配慮ってどういうことですか。

司会 ある新聞が書いていたんだけど、学生たちが図書館の入り口の前に、自転車を次々とどめていく。通りかかった教師が「どけなさい」と注意したら、「なぜですか」とって聞くんだ。

D その学生はたまたまその先生に反抗して、そう言ったんじゃないやないですか。普通の学生なら、そう言われたらすぐ行きますよ。

E 怒ってる人はいないかな。例えば電車の中でケータイ使う人がいるんですけど、注意する人を見たことないんですよ。

C 社会的せいにするつもりはないけれど、世間なんかの話を知ると、昔は悪いことすれば、

から相手にどう見られているか意識した場合はしゃべりたくない。気が許してしゃべれるようになるんですよ。相手の時間を理解できた時にやっと自分が出てくる。

B 私はけっこう自分から話しかける方ですが、私の場合はいじめとか経験して、それがあつたところであつたのがきっかけです。

D 私は社交辞令的なことはしゃべりたくなさくない。そういうことをしゃべらなくてもいいやと思う。その人を信用するまで待つてそれからしゃべるって感じ。

れてないんだと思う。普段話しかけて、会ったときに急に集まっちゃった感じがする。気が許してしゃべれるようになるんですよ。相手の時間を理解できた時にやっと自分が出てくる。

B 私はけっこう自分から話しかける方ですが、私の場合はいじめとか経験して、それがあつたところであつたのがきっかけです。

D 私は社交辞令的なことはしゃべりたくなさくない。そういうことをしゃべらなくてもいいやと思う。その人を信用するまで待つてそれからしゃべるって感じ。

隣の赤ちゃんに怒られたこと。司会 だけど、俺たちは怒られて、そういうことを勉強したのかな。怒られて、ああ、悪かったと思ってる。怒るなら怒るけど、いまは怖くて怒れない。ね、いま、ケータイの話がでたけど、二年生になつて一斉にみんな携帯電話を持ち出したのは、君らの生活ってどうなのよ、ケータイなしでは成り立たないという感じがするんだ。

A 僕もさ、自分より、自己防衛したいなものです。相手を傷つけないで、必ず自分に返ってくるから、それが怖いって。C こういう話ができる友達がいるっていいけど、私に比べては価値のあることなんですよ。真面目な話をすると、逆に引いたりやう人のほうが多いんです。

D 揉めると、エネルギーを消耗する。しりとりが残り、演習などのグループ作業をするときにスムーズにいかなくなるって困ることもある。

- 学部ごよみ 1999.1-10**
- 1.8 ●後期授業再開
 - 1.16-17 ●大学入試センター試験(受験者635名)
 - 1.29 ●総合政策学部防災訓練(NTT災害用伝言ダイヤルと連絡網を使った訓練)
 - 2.3 ●専攻指導教員の特別講義(学部1年生が受講)・後期授業終了
 - 2.15-19 ●後期定期試験
 - 2.25 ●一般前期入試(受験者107名)
 - 3.8 ●一般前期入試合格発表
 - 3.12 ●一般後期入試(受験者122名)
 - 3.15 ●第1回総合政策学部学術シンポジウム「開発とエンターテインメント」開催(ゲスト講師:田中由美子先生(東横学園女子短期大学専任講師))
 - 3.23 ●後援者入試合格発表
 - 3.31 ●総合政策学学生会誌「総合政策」第1巻1号(創刊号)発行
 - 4.1 ●新年賀状発表。新しい教員として添崎・吉川・今津の先生が責任総合政策学部のメンバーに加わった。また図書館関係の非常勤職員として新さんが入社された。
 - 4.6 ●入学式
 - 4.12 ●前期授業開始
 - 5.31 ●同学生年記念公開講演会(明石健児「国際人の条件」)
 - 6.19 ●前期定期試験
 - 6.23 ●総合政策学第1回懇話会(黒岩先生:「今世紀中に日露平和条約は締結されるか——北方領土問題と日露関係の動向」徳久先生:「中近東のメディア事情」)
 - 6.24 ●大学院総合政策研究科(修士課程)設置認可を文部省に申請
 - 6.26 ●大学説明会。県内・県外から多くの受験生が大学を訪問。総合政策学部からは昨年より多い人数が出陣し、多くは質問に答えた。伊勢したインターネット体験コーナー(質疑応答も盛況であった)。(総合政策学部参加者315人)
 - 7.23 ●前期授業終了
 - 7.26-30 ●総合政策学第2回懇話会(前野先生:「中岡農村調査……家族、相続、老後扶養」吉川先生:「企業倒産とその処理」)
 - 7.31 ●総合政策学学生会誌「総合政策」第1巻2号・3号発行
 - 8.1 ●夏季休業開始。さんさ踊りに今年も立派な大学が出陣。総合政策学部からは昨年より多い人数が出陣し、多くは質問に答えた。伊勢したインターネット体験コーナー(質疑応答も盛況であった)。(総合政策学部参加者315人)
 - 8.29 ●大学祭と交流を続けてきた中国河北省社会科学院との研究会を本学部で開催。中国側からは李先生と孫先生が、本学部からは田島先生が研究発表。
 - 9.18 ●三浦先生が準備委員となり、東北経済学が総合政策学部で開催された。
 - 9.28-30 ●三階ゼミナール。今年は1年生が9班に分かれ、それぞれ課題のもとでフィールドワークの後、発表会を行った。1年生は短い期間ながら熱心に発表準備に取り組み、活発な発表会となった。
 - 10.23-24 ●田井先生が幹事となり野生生物保護学会第6回大会が開催された。
 - 10.23-24 ●大学祭(UPI Festa '99)。総合政策学部も有観戦法による興作物の発表や各種展示を行った。



中村昭典君

大学の伝統つくり

司会 もう一つ悪態をつかせよう、今の学生は、自己中心的で、他人に対する配慮がすごく希薄なような気がする。さつき優しいと言ったことと矛盾するようだが、両極端として現れる。

A 他人への配慮ってどういうことですか。

司会 ある新聞が書いていたんだけど、学生たちが図書館の入り口の前に、自転車を次々とどめていく。通りかかった教師が「どけなさい」と注意したら、「なぜですか」とって聞くんだ。

D その学生はたまたまその先生に反抗して、そう言ったんじゃないやないですか。普通の学生なら、そう言われたらすぐ行きますよ。

E 怒ってる人はいないかな。例えば電車の中でケータイ使う人がいるんですけど、注意する人を見たことないんですよ。

C 社会的せいにするつもりはないけれど、世間なんかの話を知ると、昔は悪いことすれば、

隣の赤ちゃんに怒られたこと。司会 だけど、俺たちは怒られて、そういうことを勉強したのかな。怒られて、ああ、悪かったと思ってる。怒るなら怒るけど、いまは怖くて怒れない。ね、いま、ケータイの話がでたけど、二年生になつて一斉にみんな携帯電話を持ち出したのは、君らの生活ってどうなのよ、ケータイなしでは成り立たないという感じがするんだ。

A 僕もさ、自分より、自己防衛したいなものです。相手を傷つけないで、必ず自分に返ってくるから、それが怖いって。C こういう話ができる友達がいるっていいけど、私に比べては価値のあることなんですよ。真面目な話をすると、逆に引いたりやう人のほうが多いんです。

D 揉めると、エネルギーを消耗する。しりとりが残り、演習などのグループ作業をするときにスムーズにいかなくなるって困ることもある。



百藤かおりさん

話には変わりませんが、大学にもう少し活気があつて欲しいです。もう少し時間がかかっても構いません。

司会 始めに、来年度の入学式で、各クラスが旗を並べて競争で新入生を勧誘する、なんてことあるんじゃないですか。

C そのような先達たちの姿を見て、ああ大学に入ったんだな、と実感するの期待感がふくらむんじゃないですか。

B 私たち一回来生、二回来生には、特別な責任があるような気がしてます。



全国から「政策・情報学生交流会」に集まった学生たち

お風呂あがりの夜は、徳島のあわゆりと岩手さんのさつぱりの講義が聞かれたり、懇話会の夕方を過ぎたり……はるばる2時間行ってきたかいは12分にはありません。一度、この交流会をのぞいてみてはいかがでしょうか。

政策・情報学生交流会

関西大学に170人つどう

総合政策学部二年 石川有希子

集い、語り合い、意見交換する。そんな学生たちの会。学生による、学生のための交流会が、九月四日から四日間、大阪府高槻市の関西大学のキャンパスで開催された。こぼれで十一回目を迎えるこの「政策・情報学生交流会」は、他校の学生と意見を交換することによって、学生同士のネットワークを築き、社会の問題意識を高めようという主旨のものに、一九九九年から年々二回の形で、続けられています。

今回は総勢百七十人の学生を中心に集まりました。慶応義塾大学総合政策学部、中央大学、立命館大学、関西大学、愛知学院大学、総合政策学部、関西大学、総合政策学部、愛知学院大学、総合政策学部、そして今回が初参加となるわが岩手・ソフトウエア情報学部です。

いま政策系・情報系学部に求められていることは何かを大テーマに、十の分科会に分かれ、夜通し語り合いました。分科会のテーマは、環境問題や民族問題、男女・女子、広告・教育、情報技術などさまざまでしたが、どの分科会でも活発な議論が交わされ、会場は熱気にあふれていました。

私が参加したのは、名づけて「コミュニケーション」(有)「ビデオ写真展示」(有)についてあれこれ語り合おうと、自分が変わっていくような刺激をいくつも受けてきました。

サークル



【見方】
 活動内容、活動状況（どんなの？）活動の実績（どんなやつか、など）
 下さい。
 新聞部が編集しました。

「ACTION!!!」

映画部
 ①北村信樹（ソフトウェア情報） ②1年生22名
 ③活動時間は特に決まっています。誰かが企画を出すことから始まり、それに参加するかは各自の自由です。撮りたい映画を、撮りたい時に、撮りたい仲間とつっていきのスタンスを取ってやっています。
 ④1年生だけの新しい部なので、今までに実績はありません。ですが、今秋開催される「みちのく国際ミステリー映画祭」のオブシアター・コンペティション部門への出品を予定しています。
PR◆映画部は、ひとつの映画の企画に全員参加ではないので、同時進行で映画をつくることもあります。だから、脚本家は1人、監督は1人とは限りません。みんながやりたいところをやっています。県大映画部は、素人の集まり。なので、誰でも気軽な参加ができます。みんな楽しんでながら映画をつくっていきなかとっています。そんな私たちの記念すべき初めての作品が学祭で大公開!! された「アセリ」です。



「華麗なダンスっぷり」

フィギュアスケート部
 ①門脇悠美子（総合政策） ②2年生5名
 ③冬はアイスアリーナで18時から19時まで練習。夏は陸上トレーニングとダンスの練習をしています。
 ④門脇は長野国体16位、インカレ20位、北日本大会4位、県民体育大会優勝という実績があります。
PR◆学校にはアイスリンクがないので、冬場はほとんどアイスアリーナで活動しています。学校からはちょっと遠いのですが、興味があるという人はぜひぜひアイスアリーナまで足を運んでみてください。華麗なダンスっぷりを披露いたします!!



「吹いて奏でて楽しもう」

吹奏楽部
 ①野毛孝一（ソフトウェア情報）
 ②1年生6名 2年生12名 短大4名
 ③活動は週2回、月曜日と木曜日にやっています。体育棟3階、廊下のドアの向こうでは、合奏や個人練習の美しいメロディーが奏でられているわけです。
 ④去年は学祭で演奏しましたね。今年からは外部のアンサンブル・コンテストなどの大会にも出場する予定です。
PR◆音を楽しむ、それが音楽。どうやって楽しむかって？ 楽器を吹いて音を奏で楽しむ、それが吹奏楽。この楽しさ、みんなで共有したい。興味のある人、一緒にやりましょう!

「ピン・ポン・パン」

卓球部
 ①古川敦（ソフトウェア情報）
 ②1年生4名 2年生4名
 ③月曜と金曜の週2回ですが、活動への参加は自由です。
 ④小さな大会に何度か程度。
PR◆基本的に、参加したいときだけ参加できる部です。ランニングや、きつい練習などは部としては一切課していませんので、軽い気持ちで入部してもらって結構です。

「決めるスマッシュ」

バドミントンサークル
 ①宮本光（総合政策）
 ②1年生30名 2年生16名 短大5名
 ③火・金の週2回体育館で活動しています。初心者の指導・基本打ち・試合（ダブルスORミックスダブルス）などをしています。
 ④学祭では、おでんと中華まんの模擬店を出し、アンケートによる模擬店人気1位を獲得!!
PR◆みんなで仲良く楽しくバドミントンをするのがモットーです。初心者には先輩や経験者が丁寧に指導をするので心配は要りません。初心者も経験者も一緒に活動しています。部員の人数が多いので友達もたくさんできるよ! バドミントンに少しでも興味のある方はぜひサークルを見に来て下さい。お待ちしております!!!

「面ッ、胴ッ、コテッ」

剣道部
 ①阿形 恵理子（社会福祉）
 ②1年生4名 2年生4名 短大1名 先生4名 事務1名
 ③とにかく週2回の稽古が基本です。素振りなど、先生方のほうが熱心だったりして…
 ④東京から剣道の先生をお呼びしたり、岩大や盛大の剣道部と一緒に稽古したりもしました。合同稽古となると熱くなりますね。
PR◆和気あいあいとした雰囲気の中で、稽古を通して体だけでなく、精神も鍛えることができる。人間としての成長になれるわけです。剣道ってなんで素晴らしいスポーツなんだろう。



「なんでもスポーツしちゃう」

E.S.サークル
 ①佐藤一人（総合政策） ②20名（四大・短大合わせて）
 ②月2回、第2・4土曜日にスポーツをしている。夏は主にバスケットやバレー。冬は2泊3日くらいの合宿で、スキーやスノーボ。去年は初心者でもこの期間だけで滑れるようになったそうで、初めての人も安心。
 ③5月には若手公開で花見。6月にはボーリング大会。7月にはみんなでお金を出し合せてロケット花火を買って、広場で遊びました。最近では、車で北海道旅行に行きましたよ。ちなみに3泊4日で4万円!! 学生という身分なのであまりお金は出せませんが充実した旅でした。
PR◆「E.S」という名前の由来が分からないということは、よく聞かれます。名前の由来は、Enjoy Sportsの略、ミステルの曲のタイトル、サークル内にE.S君というイニシャルの人がいる…など、いろんなことを表すことができる名前だったので選びました。
 でも、一番の理由は恥ずかしいので秘密。サークルに入ってくれたら教えてください。
 余談ですが、去年の5月に活動を始めた時は、「E.S」という名前ではなく、若手県立大学の略称でもある「IPU」という名前でした。大学から苦情が来たのでやめたが、「部活」のように、1つのスポーツを本格的にやるのではなく、いろんなスポーツを楽しんでやろう。そして、スポーツを通じて仲間を作ろう、というのが「E.S」の目的です。当初は80名ほどいたメンバーも、やる気のある人だけに絞った結果、現在の人数になりました。小人数化することで、交流や活動の密度は濃くなりました。1人1人の顔を覚えられ、学部や学年に関係なく、楽しくやっています。
 来年は活動をもっと、大規模なものにしていきたいと思っています。学生時代に何か思い出を残したい!! と思っている人は、入ってみる価値アリです。

「リズムに乗って大行進」

マーチングバンド部
 ①長岡はるえ（社会福祉） ②1年生3名 2年生5名
 ③週1・2回、マーチング（楽器を演奏しながら行進したり、パフォーマンスをしたりする）の練習をしている。
 ④学祭ではお好み焼き屋をやりました。毎年恒例にしていきたいと思っています。
PR◆高校総体の開会式でもマーチングは行われました。見た人は絶対かっこいいと思ったはず! 来年こそマーチングフェスティバルに出場します。ただ演奏するだけでは飽き足りないという人にぜひオススメ!一緒に見る人に感動を与えたいと思います。



「部員はなんと60名」

水泳部
 ①岩瀬康浩（総合政策） ②60名
 ③水曜日（たまに盛大な合同練習有り）
 ④若手県選手権、東北大学総体、関東学生選手権
PR◆部員数60人とはいえ、あくまでもこれは登録数です。実際こんな人数で一緒に活動したらプールの水も溢れちゃうので、残念ながら「幽霊部員」もかなりいます。ですから、「自称、隠れ白マッチョ」のT君をはじめとする本当に泳ぎたい一握りの人がやっているのが実状です。構成としては「競泳」と「ヘルス（健康）」にわかれていて、後者を目的とした先生方が泳ぎに来ることもあります。
 飲み会を催すこともあるのですが、ふだん泳ぎで鍛えているものの、酒にだけはどうしても溺れてしまう水泳部。かなり荒れることもあるのでご用心。目を泳がずハメになるかも…

「風よりも速く」

陸上部
 ①高橋直希（総合政策） ②1年生3名 2年生3名
 ③主に陸上の練習。部員が少なく、それぞれの種目が違うので、個人トレーニング形式をとっています。種目も、短距離走と長距離走です。
 ④東北インカレ（インカレ：インターカレッジの略）、北日本インカレ、県選手権、東北総体、あつぴりレーマラソン参加の実績があります。
PR◆もっと部員がほしい!! 本気で競技に取り組まなくてもよいので、興味のある方は、とてあそぶくらいの気持ちで来てほしいです。

「楽しく「武活」しています」

合気道部
 ①滝沢俊介（総合政策）
 ②1年生4名 2年生10名
 ③週3回程度（個々の判断で道場通いも）
 ④東北大会演武大会見学（98年10月）
 若手県内合気道交流会参加（99年5月・6月）
PR◆辞つれと「静拳」が飛び出す部員もいますが、本格的には合気道メインで「武活」しています。ワザを覚えるとその感動を誰かに伝えたくて、「悪い子はいねが〜」と相手が好きになる今日この頃です。そんな合気道から身を護る(?)ためにも、合気道を習ってみてはいかがでしょうか。「合気」道だけに気の合う友達と一緒に始めよう!

「馬も人もほのほの…」



馬術部
 ①金子晋美（社会福祉）
 ②1年生4名 2年生3名 助手1名
 ③月・水・土・日曜16時から、県立大隣の「ポニースクール若手」で馬術練習。ほかに土・日曜は馬の世話、引き馬、イベントの手伝い等も。
 ④99・7・4 ポニーフェスティバル 入賞
 99・9・26 東北地区乗馬クラブ入賞
 99・11・21 若手大学馬場馬術協議会 出場予定
 本年度、(社)日本馬術連盟D級・C級ライダー 3名合格
PR◆馬術部に入部すると、こんな特典があります。
 ・チャグチャグ馬ことして活躍する「豊姫」にリンゴをあげられる!
 ・今年6月に生まれたばかりの馬「ウイング」にさわることができる!
 ・ソウルオリンピック出場（補欠）という、夢のような名馬「天龍」に乗れる!
 ・障害者の乗馬療法のノウハウを学ぶことができます!
 ・ポニースクールの馬の出張について行き、県内外のイベント・祭りを体験できる!
 ・もちろん練習を積めば、「藤れん坊御車」もビックリの手綱さばきも夢じゃない!? ……というように、素晴らしい内容が盛りだくさんの部です。馬も人もほのほのとしているんですよ。馬に触つてみれば、体が大きくなって怖そうだけど本当はおとなしくてかわいい動物だということがわかるはずですよ。半年ほど一生懸命練習に励めば、まさに「人馬一体の精神」、爽快な駆け足で走れるようになりますよ。

「取材! 取材! 取材!」

報道部
 ①及川智範（ソフトウェア情報）
 ②2年生5名
 ③イベント取材、ホームページ作成がメインです。
 ④イベントの取材では、入学式、明石康氏講演会、七夕、さんざ祭りなどの取材をしました。今春、学内向けのホームページの公開を申請中です。
PR◆報道部では、部員を募集しています。人数の関係上、現在は学内行事だけを取材していますが、部員増加後は学外の取材を考えています。

「魚と真剣勝負」

フォルスキャスト部
 ①及川聡（ソフトウェア情報）
 ②2年生7名 短大2名
 ③フォルスキャスト部は、釣りを主な活動としています。活動は、天候や部員のスケジュール次第なので、週何回とは決まっています。
 ④特になし。
PR◆フォルスキャストとはフライを空中で保持するテクニクの事で、フライフィッシングの用語です。川や池・ダムでの釣りがメインですが、海釣りにも挑戦したいと考えています。釣りを愛する人、自然を愛する人を募集しています。釣りを通じて、自然と親しみ、ちょっと賢いひとときを過ごしてみませんか?



「私たちのサークルもよろしく!」

バレーボール部●個人の技術の向上を図るとともに、大会参加にむけてチームづくりをする パドミントン部●運動不足を解消する B・O・Oバドミントン、アウトドアを通じ、部員の親睦を深める 弓道部●部員の親睦を図り、技術向上を目指す 硬式野球部●心身の向上、精神の向上、大学リーグへの参加 サッカー部●サッカーの技術向上と部員相互の親睦を図る フットボール部●フットボールを通じて体力の強化を図る カヌー部●水に親しむ スキーサークル●スキー技術の向上、部員の親睦を深める スノーボードサークル●スノーボードの技術の向上 ボクシング部●ボクシングを通じて心身の健康を保つこと 軟式野球部●野球を通じて体力と技術の向上を図る 楽部●音楽・文芸・映画・写真の4つを根拠に、自分自身の文化を発展させていく Chaos Art Studio●芸術活動を通じて豊かな感性を身につける キタークラブ●ギター演奏の上達 軽音楽部（短期大学部）●音楽活動 将棋部●将棋技術の向上、将棋を通じた有意義な学生生活の実現 華道部●華道を通して日本文化にふれ、かつ、部員相互の親睦を深める 美術部●個性を生かして満足する作品をつくる ハードウェア情報部●コンピュータハードウェアの理解を深める TOEFL CLUB●総合的な英語学習への取り組み及びTOEFLに挑戦し、スコアアップを図る 文芸部「E.S.・約」●詩・短編などを作り発表する グリーニングクラブ●農作業の体験を通して自然と親しみ、地域生活への理解を深める 軽音楽部●音楽活動を楽しむ FRIENDS 活動を通して、一生つきあえるような友人をつくる LONDON TEA CLUB●紅茶を通して英国文化を学ぶ

◇編集後記◇

「サケット」シリーズ第2弾目はサークル情報です。予想以上にサークルの数は驚かしました。まさにこんなに沢山のサークルがあるとは…。これじゃあ部室の数も足りないうわ。設立から1年ちょっととそれ以下の部ばかりで、実績は多いとは言えません。ただ、取材のしつこくが部員たちを一生懸命にやっているのがうかがえます。これらに期待していきましょう。
 どうですか?どこかのサークルに入ってみたりませんか? それとも、自分でサークルをつくってみたいかな? サークルに入って学生生活をもっと楽しもう!
 最後に、アンケートにご協力いただいたサークルのみならず、写真を撮ってくださった写真部の方々、ありがとうございました。
 ●編集者 伊藤幸子 大前秋明 井上安奈 及川さつき 今野佳 藤原千穂 尾崎真紀子 石川摩子

「どこでもヤッホー」

山岳部
 ① 稲川達 (社会福祉) ② 1年生3名 2年生4名
 ③ 体育館のクライミングボードで毎週火曜日の17時(?)から21時、毎週金曜日の9時(?)から10時30分までインドアクライミングをしています。また、月に1~2回、登山も行っています。
 ④ 東北フリークライミング協会主催のコンペティションで優勝。また、秋田県民体育大会山岳競技成年男子の部でも準優勝しています。東北フリークライミング協会のホームページがあるのでアクセスしてみてください。
<http://www.dewa.or.jp/mono/hplindex/tofuindex.html>



PR◆山に登りたい人はもちろん、アリーナのクライミングボードに登ってみたい! という人も歓迎します。夏だけ山に行きたい人から、冬山にも挑戦したい人まで、幅広く部員を募集しています。山岳部というどうしても男性中心だと思われるのですが、男性は目下3人だけで、むしろ女性中心の部です。少しでも興味を持った方はお気軽にお越しください。

「こんなにやくは打ちません」

ソフトテニスサークル
 ① 村田憲治 (社会福祉) ② 1年生4名 2年生12名
 ③ 乱打、サーブ練習、試合形式など週2回活動しています。
 ④ 一般人の大会などに出て、ますますの成績です。今年の学祭ではテニスサークルにちなんで、「たまごんやくの醤油煮」を販売する予定。
 PR◆部員を募集しています。大会に向けてまじめにやりたい人も、遊びでやりたい人も、初心者も、だれでも大歓迎です。ソフトテニスに少しでも興味のある方はぜひ一度見学に来てみてください。



「踊って笑ってダイエット」
 ダンス部
 ① 門脇悠美子・柳原千穂 (総合政策) ② 1年生7名 2年生10名 短大3名
 ③ 毎週水曜日15時から17時まで。サブアリーナにて。主にジャズダンスを行っています。
 ④ 特になし。
 PR◆「ウリナリ」を見て、踊ってみたいなあと思ったことはありませんか? 「ダンスダンスレボリューション」をやって、ダンスって面白いかも? って感じたことは? ダンスに興味を持っている人は多いはず。でも、「踊るなんてちょっと恥ずかしい……」とためらっている人もまた多いのでは。私たちは一定先にダンスを満喫しています。音楽にあわせて体を動かすって、ほんとに気持ちいい!! 気がつくともんなの顔に笑顔が。こんなに楽しい思いをしているのに、意外に汗をかいて、なんとダイエットの効果もあり! 私たちは食事制限をしてイライラするのではなく、好きなものを食べ、すっきり体を動かして、カロリーを消費しています。ジャズダンスは、安室奈美恵、MAXがやっているようなダンス。もちろん大半がダンス未経験者。ダンスには経験、未経験を超えたおもしろさがあることを部員全員が実感しています。わが人生にダンスあり!!!

「決めろ! ダンクシュート」

バスケットボール部
 ① 阿部高志 (ソフトウェア情報) ② 1年生13名 2年生23名 短大1名
 ③ 毎週、月・水・金曜日の講義終了後に活動中。学部によって講義終了時間が異なるため、体育館に早く集まった人は、それぞれにトレーニングの練習などをし、人数が揃った時点で、フットワークから始め、最後はゲームをして終わる。また、盛岡大学のバスケットボール部との練習試合も行っている。
 ④ 東北地区総合体育大会出場。本来の力を発揮できず、惜しくも1回戦敗退。
 PR◆学部や年齢を越え、バスケットを愛する者同士が和気あいあい、仲良く活動しています。大学生ということで、高校時代のような半強制的な部活動ではなく、自由な活動をしています。新しい体育館に、新しいユニホーム、新しいボール、そして楽しい仲間達。環境・設備ともに充実した中で、バスケットボールを楽しんでみませんか?
 経験者はもちろん、未経験者も大歓迎! 優しく丁寧に先達達が、手取り足取り教えます。「俺が県立大バスケット部を強くしてみせる」というそのあなた! 是非一度体育館に遊びに来てみてください。バスケット部に入りたくて、胸がうずうずすること間違いなし! あなたのお越しを待っています。



「がちりスクラム」

ラグビー部
 ① 小田直生 (総合政策) ② 1年生29名 2年生1名
 ③ 練習は週に、火、木、土の3回。火曜日と土曜日はグラウンドで練習。木曜日はウエイト・トレーニング。
 ④ なし
 PR◆1年生が中心の部です。経験者がほとんどいないので、パスなどの初歩的な練習やミニゲームをしています。夏休みは宮城大の人たちと合同練習をしました。残念なことには、いまは大学のグラウンドの芝の状態が悪くて使えないのですが、毎週土曜日は部長の母校でもある盛岡北高校で高校生と合同練習をしています。
 ラグビーは練習の積み重ねがそのまま試合にでるスポーツです。がんばればがんばるほど、その努力は報われるのです。練習はきつけれど、勝ったときの喜びはとて大きいです!
 ラグビーは、フェアプレー精神を重んじる非常に紳士的なスポーツで、体だけでなく、心も鍛えられます。
 ラグビー部にはいれば、仲間とともに汗をかき、ともに喜び……そんな青春を送れます。これからユニフォームをつくって、来年あたりの大会をめざします。

「今年もちゃんねるはやるよ!」

演劇部「劇団ちゃんねる」
 ① 大川 慎 (社会福祉) ② 1年生15名 2年生13名
 ③ 毎週火・木はサブアリーナ、土曜は講堂で活動中。
 ④ 去年の学祭ではあの劇作家、湖上尚史の作品「パレード旅団」を、そして今年の七夕特別公演では高橋いさく作「ここだけの話」を上演!
 PR◆ちゃんねるの活動は発声練習から始まる。徐々に空気が引き締まっていくのが分かる。「ちゃんねるはサークルというよりむしろ部活」だと部員の1人が話してくれた。みんなで楽しくやる、というのもいい。しかしちゃんねるには演劇に対して「真剣に向き合う人」、そして「ちょっと変わってる人」が集まっているらしい。
 そして部長いわく、「演劇はチームプレイ。舞台を作り上げているのは役者だけではない。演出、照明、衣装、音響、小道具……。裏のほうがある意味でも大切かも」。本番の舞台裏というのはハプニングの連続らしい。役者が40度の熱を出したり、小道具が消えたり、こちらから出て行くはずの人が、向こうの袖で待機していたり……。客席から見ていると、そんな苦勞は分からない。やっている自分たちだけが知っている。そして「それが楽しいのだ」という。
 舞台に立っている役者は、本番ではさささ緊張するのだからと思いきや、「出るからには恥ずかしがってられない」、「本番のほうが大胆になれる」、「笑わせてなんぼ」との声が上がった。
 「ちゃんねる (channel)」という名前前に込められた3つの願い。「水路を開く」という意味でのチャレンジ精神、「海峡」つまり障害を乗り越えるだけの強さ、ちゃんねるの公演を通して向かえたいという気持ちの「情報伝達」。目的があってやっている分、大変だが充実感も大きい。



1・2年の仲はいい。ただ、2年生としては1年生に遠慮せずとも意見を言っていくこと。演劇は「ニセモノ」の世界だけど、ちゃんねるは「ホンモノ」になろうとしているのだ。

「なんでもやっちゃう」

バスケットミニサークル
 ① 館下めぐみ (総合政策) ② 1年生3名 2年生15名 短大7名 学外1名
 ③ 毎週水曜日にアリーナでバスケットをしています。内容としては男女混合チームでの試合が中心です。バスケのほかにテニスもしたりと、いろいろなスポーツに挑戦しています。夏休みには、みんなで1泊2日くらいの旅行にも出張しています。去年はスキー&ボードもやりました。
 ④ 特になし。
 PR◆1つの種目にとらわれずスポーツを楽しもうというのが狙いなので、経験の有無に関係なく誰にでも楽しんでもらえるサークルです。部員の仲もとても良いので、友達を増やしたい人など、ぜひ一度見学に来てみてください。



「野原でプレイボール」

草野球サークル
 ① 菊池貴 (ソフトウェア情報) ② 1年生9名 2年生14名 近所の小学生3名?
 ③ 週2回、みんなで集まって野球をします。大会などには参加せず、ただ楽しくやっております。
 ④ 実情なし
 PR◆硬式でも軟式でもなく、「草野球」のサークルなので野球経験などは一切問いません。本当に上手い人は普通の「野球部」へどうぞ! 下手だけど野球は好き、または興味があるという方はこちらのサークルへ。とにかく楽しくやりましょう!

「日本の心を知る」

茶道部
 ① 遠藤教子 (看護) ② 2年生8名
 ③ 月に1度水曜日、外部より講師をお迎えして指導を受けています。
 ④ 昨年の大学祭が終了してからの発足だったので、大学祭には出展できませんでした。
 PR◆ 茶道を通して日本文化に触れながら、茶道の魅力を感じてみてください。講師による丁寧な指導によってだれでもマスターできます。友達を誘って遊びに来て下さい。お待ちしております。



「ハイチース」

写真部
 ① 高橋浩 (ソフトウェア情報) ② 1年生11名 2年生9名 短大4名 教員1名
 ③ 時間は、個人のスケジュールにお任せ。つまり、毎日好きなだけ活動可能。
 活動内容は、写真撮影が主。風景やポートレート (人物撮影)、接写 (被写体に近づいて、撮影。花の写真や、レストランのメニューの写真によく用いられる)、スタジオ撮影など。あと、暗室作業 (フィルム現像、プリント処理) です。
 ④ 学祭の写真展示、写真展 (大学内) 出展、写真コンクール (若手県内芸術祭、全国月刊誌コンクール) 出展、若手県立大学への写真提供といった実績があります。
 PR◆部員のほとんどが初心者ですが、試行錯誤を通じて写真技術・感性を磨いていく。単なる「写真」で終わらず、新しいアートを形成することが写真部の挑戦のひとつです。



「めざせ伊達! めざせ松岡!」

硬式テニス部
 ① 東坂綾子 (社会福祉) ② 1年生7名 2年生17名 短大1名
 ③ 週1回、水曜日にテニスコートで活動中です。他の日は各自で自由に練習する事ができます。
 ④ 大会にはまだ参加していませんが、去年の学祭ではクッキーを焼き、大好評でした。
 PR◆ほとんどのメンバーが初心者。初心者・経験者を問わず随時部員を募集!!!全10面の照明つき完全人工芝のコートで一緒にボールを追いかけようではありませんか!!



「これ書いてます。」

新聞部
 ① 伊藤幸子 (総合政策) ② 1年生1名 2年生9名
 ③ 新聞「MONTO」を年2回発行する。MONTOは、県立大生はもとより若手県内外の高校に配られ、県立大を外部にアピールするのにお役に立てられている。
 ④ 「MONTO」創刊日 1999.4.6 発行。学生新聞発行予定。
 PR◆大学の新聞となると妙に堅苦しかったり、学祭紹介にとどまったりとなってしまうけど「MONTO」は先生方が生徒達への本音をぶついたらあう座談会を入れるなど、興味深い内容となるよう工夫されています。(ちなみに、今回の「MONTO」には学生達の座談会が入っています。) しかし何と言っても見所はカラフルな「学生ページ」であり、わが新聞部が担当するのはそこ! 「ああしよう、こうしよう」と頭を並べて相談し、みんなで紙面をつくりあげていく過程は、参加しなければ味わえない楽しさがあり、完成したときの喜びも格別です。大量に (5000部以上) 配られるので仕事のし甲斐もありますし、慰勞を兼ねた飲み会があるのも部員達の大きな励みになっています。



「紹介の」
 ① 代表 (学部) ② 部員数 ③ 活
 なことを、週何回やっているの
 な大会に出たか、学祭で何を
 PR◆思いっきり売り込んで下
 ※このページは県立大学専

図3 現在の悩み(複数回答) %

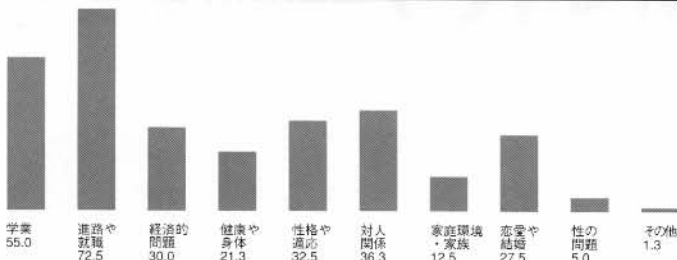


図6 出席率 %



図7 収入の合計 %

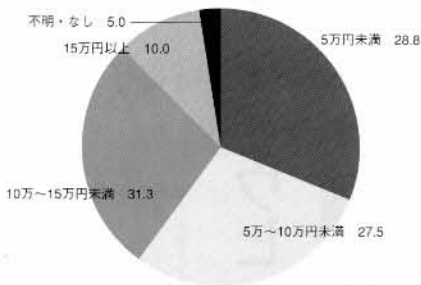


図8 家賃金額 %

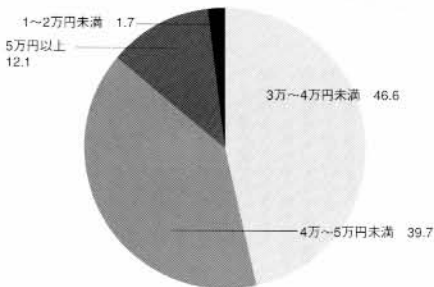


図1 就職希望地域 %

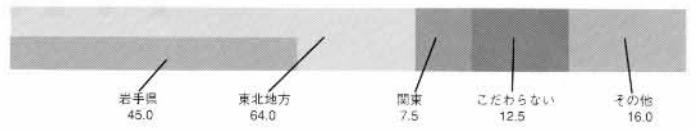


図2 卒業後の進路希望 %

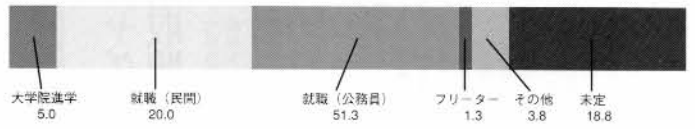


図4 満足度 %

岩手県立大学に入学したこと



現在の学部学科に入学したこと

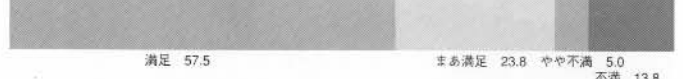


大学生活

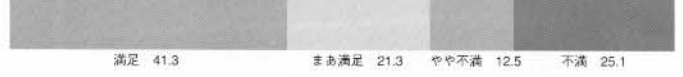


図5 満足度 %

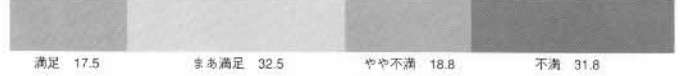
キャンパス環境



大学の研究・教育施設



教員との交流



向かって左側の2つの水槽の中で「北限のメダカ」の稚魚が泳いでいた。



そつとのぞいて見てごらん
「北限のメダカ」の研究室の巻

「それが生徒か、先生か」わからないということなのかな? 噂の所、幸丸研究室を訪ねてみた。はたして部屋の窓には三つの水槽があった。だが、かんじんの「魚影」が見えない。水槽に鼻をくっつけてよくよく目を凝らすと、確かになにやら動くものが見える。体長やつと数ミリ。これが噂の「北限のメダカ」であった。幸丸先生は、昨年十月、環境調査で訪れた花巻市の田んぼで、メダカを見つけた。かつてメダカは下北半島のはずれまであちこちで泳いでいた。ところが、圃場整備や農薬の影響でみるみる減少し、岩手県でも北上川流域でわずかに見かける程度という。花巻のメダカが現在では「北限のメダカ」と言ってもいい。田んぼが近々つぶされると聞いた幸丸先生は二十四日ほど持ち帰り、研究室の水槽で飼うことにした。専門用語ではエクサイニュー(生息域外保全)。今年六月頃から産卵が始まり百匹ほどが無事育った。今、親の世代と子どもの世代が別々の水槽で暮らしている。水草は大学構内の調整池や東京から持ってきた。それに付着していた小さな水生動物たちも増えている。二つの水槽にそれぞれ違う小自然が作られ生き物たちの暮らしが営まれている。そして幸丸先生、条件は同じようであっても差し込む光の微妙な違いによって、それぞれの生態系が変わってくるのだという。メダカには約千六百もの地方名があるという。「それだけメダカは、人の暮らしと自然の営みの接点に溶け込んで生きていたんですね」。幸丸先生の前歴は環境庁職員、パーク・レンジャーと呼ばれ、長く国立公園の自然環境の管理と保全に当たり、世界遺産の隠久局や白神山山も守ってきた。「自然の理(ことわり)を科学的にふまえた上で、人間のありようをしっかりと考えてほしい」と、学生に対する幸丸先生の願いだ。メダカたちは、そのメッセージを小さな体に受けて、ツイツイ泳いでいる。

授業にはまじめに出席、サークル活動、アルバイトも積極的に(図6) 授業への出席率の自己評価)を尋ねたところ、「すべて出席」が九〇%以上出席)を合わせると七割となる。一年生で必修科目が多いこともあるだろうが、全体的に高い出席率と言えるだろう。しかし、一週間あたりの勉強時間を見てみると、五時間未満という学生が半数(五〇・〇%)を占めていた。授業にまじめに出席するのは良いことだが出席するだけでは……。

「暮らし向きは」 ●暮らし向きは「薬が六割、家賃は四万円前後(図7)(図8) 暮らし向きを尋ねると、「かなり薬」や「薬」を合わせて六割が薬だと答えた。一方で、「やや苦しい」学生も四割近くを占めた。このあたりは、実際のかさねる具合と、本人の感じ方によるのだろう。実際にこれだけの収入があるかを尋ねてみると、仕送り、奨学金、アルバイトなどの収入を合計して、一〇万円以上一五万円未満が三二・三%と最も多

く、次いで一五万円以上五万円未満(二八・八%)、五万円以上一〇万円未満が二七・五%であった。一五万円以上一〇%である。かなりはらつきがあるが、自宅生(全体の二五%)か、アルバイト(六五%)や下宿(二〇%)かで、どれだけ余裕があるかは違ってくるはず。ちなみに家賃は、三万円以上四万円未満(四六・六%)、四万円以上五万円未満(二九・七%)程度の方が多かった。アルバイトをしている学生は五六・三%だった。

「学生生活実態調査」は、岩手県立大学教務・学生委員会によって、平成十一年一月末から二月初めにかけて、全学の第一期生を対象に実施された。総合政策学部の回答者は八〇名(回収率七七・七%)である。

